

安全データシート（SDS）

1．化学品及び会社情報

化学品等の名称水酸化カルシウム

製品コード2003 顆粒消石灰

会社名全国農業協同組合連合会

担当部門耕種資材部

住所〒100-6832 東京都千代田区大手町1-3-1 JAビル33F

電話番号03-6271-8285

FAX番号03-5218-2536

電子メールアドレスzz_hiyaku-gizyutsu@zennoh.or.jp

緊急連絡先03-6271-8285

推奨用途及び使用上の制限：肥料用及び肥料原料用。肥料用途以外には使用しないで下さい。

2．危険有害性の要約

GHS分類		
物理化学的危険性	爆発物	分類対象外
	可燃性ガス	分類対象外
	エアゾール	分類対象外
	酸化性ガス	分類対象外
	高压ガス	分類対象外
	引火性液体	分類対象外
	可燃性固体	区分に該当しない
	自己反応性化学品	分類対象外
	自然発火性液体	分類対象外
	自然発火性固体	区分に該当しない
	自己発熱性化学品	区分に該当しない
	水反応可燃性化学品	区分に該当しない
	酸化性液体	分類対象外
	酸化性固体	分類できない
	有機過酸化物	分類対象外
	金属腐食性化学品	分類できない
	鈍性化爆発物	
健康に対する有害性	急性毒性（経口）	区分に該当しない
	急性毒性（経皮）	分類できない
	急性毒性（吸入：気体）	分類対象外
	急性毒性（吸入：蒸気）	分類対象外
	急性毒性（吸入：粉じん、ミスト）	分類できない
	皮膚腐食性／刺激性	区分2
	眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分1
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	分類できない
	生殖細胞変異原性	分類できない
	発がん性	分類できない
	生殖毒性	分類できない
	生殖毒性・授乳影響	分類できない
	特定標的臓器毒性（単回ばく露）	区分1（呼吸器）
	特定標的臓器毒性（反復ばく露）	分類できない
	誤えん有害性	分類できない
環境に対する有害性	水生環境有害性 短期（急性）	分類できない
	水生環境有害性 長期（慢性）	分類できない
	オゾン層への有害性	—

GHSラベル要素

絵表示（ピクトグラム）



注意喚起語
危険有害性情報

危険

H315
H318
H370
H372

皮膚刺激
重篤な目の損傷
臓器の障害
長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害

注意書き
安全対策

P280
P264
P260

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること
取り扱い後は水でよく洗うこと
粉塵/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと

応急措置

P302

P304

P305

P308

皮膚に付着した場合:多量の水で洗うこと
皮膚刺激が生じた場合、医師の診断/手当をうけること
吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、
呼吸しやすい姿勢で休息させること。
目に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。
コンタクトを容易に外せる場合は外して、洗浄を続けること
直ちに医師の診断をうけること
ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること

保管
廃棄

P405
P501

施錠して保管すること。
内容物/容器を地域の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	化学物質 単一製品
化学名又は一般名	水酸化カルシウム
分類に寄与する不純物及び安定化添加物	

化学物質 単一製品
水酸化カルシウム

組成物質名	CAS登録番号	化審法官報公示整理番号	安衛法	濃度又は濃度範囲
水酸化カルシウム	1305-62-0	1-181	公表	85%以上
結晶質シリカ	14808-60-7	1-548	公表	1%以下

製品は天然の鉱物を原料としており、不純物としてシリカを含有しております。

4. 応急措置

吸入した場合

皮膚に付着した場合

眼に入った場合

飲み込んだ場合

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候・症状

応急措置をする者の保護に必要な注意事項

医師に対する特別な注意事項

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 気分が悪いときは、医師の診断／手当てを受けること。
 多量の水で洗うこと
 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断／手当てを受けること。
 水で数分間注意深く洗うこと。
 コンタクトを容易に外せる場合は外して、洗浄を続けること
 直ちに医師の診断をうけること
 速やかに口をすすぎ、直ちに医師の手当、診断を受けること。
 吸入： 灼熱感、咳、息切れ、咽頭痛口
 皮膚： 皮膚の乾燥、発赤、皮膚熱傷、灼熱感、痛み
 眼： 発赤、痛み、かすみ眼、重度の熱傷
 経口摂取： 灼熱感、腹痛、胃痙攣、嘔吐、下痢
 救助者は、状況に応じて適切な保護具を着用する。
 眼の中で水分やたんぱく質と反応して生成した酸化カルシウムの塊は
 水洗浄で除去するのは困難。

5. 火災時の措置

適切な消火剤

使ってはならない消火剤

火災時の特有の危険有害性

特有の消火方法

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

二酸化炭素、粉末消火剤、乾燥砂、耐アルコール性泡消火剤

情報なし

火災によって刺激性、毒性、又は腐食性のガス及びヒュームを発生するおそれがある。□

不燃性であり、それ自身は燃えないが、加熱されると分解して腐食性又は毒性の煙霧を発生するおそれがある。

加熱あるいは水の混入により容器が爆発するおそれがある。

少量の場合は、乾燥砂等で被覆し、窒息消火する。

消火作業の際は、適切な空気呼吸器を含め、適切な化学用保護衣を着用する

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置
環境に対する注意事項
封じ込め及び浄化の方法及び機材
二次災害の防止策

作業者は適切な保護具を着用し、眼、皮膚への接触や粉じん、ミストの吸入を避ける。
粉じんの発生、拡散を防ぎ、河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。
飛散、こぼれた物質を乾燥容器内に掃き入れる。
排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	技術の対策
	衛生対策
	接触回避
保管	安全な保管条件
	安全な容器包装材料

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
適切な局所排気の実施
容器を密閉し、涼しい乾燥した場所に保管すること。
耐アルカリ性容器

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度	
許容濃度	日本産衛学会 ACGIH
設備対策	
保護具	呼吸用保護具 手の保護具 眼、顔面の保護具 皮膚及び身体の保護具

設定されていない
設定されていない
TLV-TWA5mg/m3
工程の密閉化、局所排気、その他の設備対策を使用する。
防塵マスク
保護手袋
保護眼鏡（ゴーグル）
顔面用の保護具、保護衣、安全靴等の保護具を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理的狀態

物理狀態
色
臭い

融点・凝固点

沸点又は初留点及び沸点範囲

可燃性

爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界

引火点

pH

溶解度

密度及び／又は相対密度

粉末
白色～灰色結晶性
無臭
580℃(分解): ICSC (1997)
情報なし
不燃性
不燃性
不燃性
飽和水溶液中では約 12.4(25℃飽和水溶液) : Merck (13th, 2001)
水に微溶: Merck (13th, 2001)
2.2: ICSC (1997)

3) 令和3年度（2021年度） 厚生労働省・経済産業省・環境省によるGHS分類結果（NITE）
項目9及び11は 各データ毎

本安全データシートは作成年月日時点の情報に基づき記載されておりますが、情報の正確さ、安全性を保証するものではありません。
また記載事項は、通常の取扱いを対象としたものですので、特別な取扱いをする場合には、用途、用法に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。□

本SDSは、上田石灰製造株式会社の情報を元に作成しました。該当物質については、下記にお問い合わせください。

会社名	上田石灰製造株式会社
住所	岐阜県大垣市赤坂町3751番地
電話番号	0584-71-1133(代)
FAX番号	0854-71-5161
緊急連絡先	0584-71-1131（営業部直通）